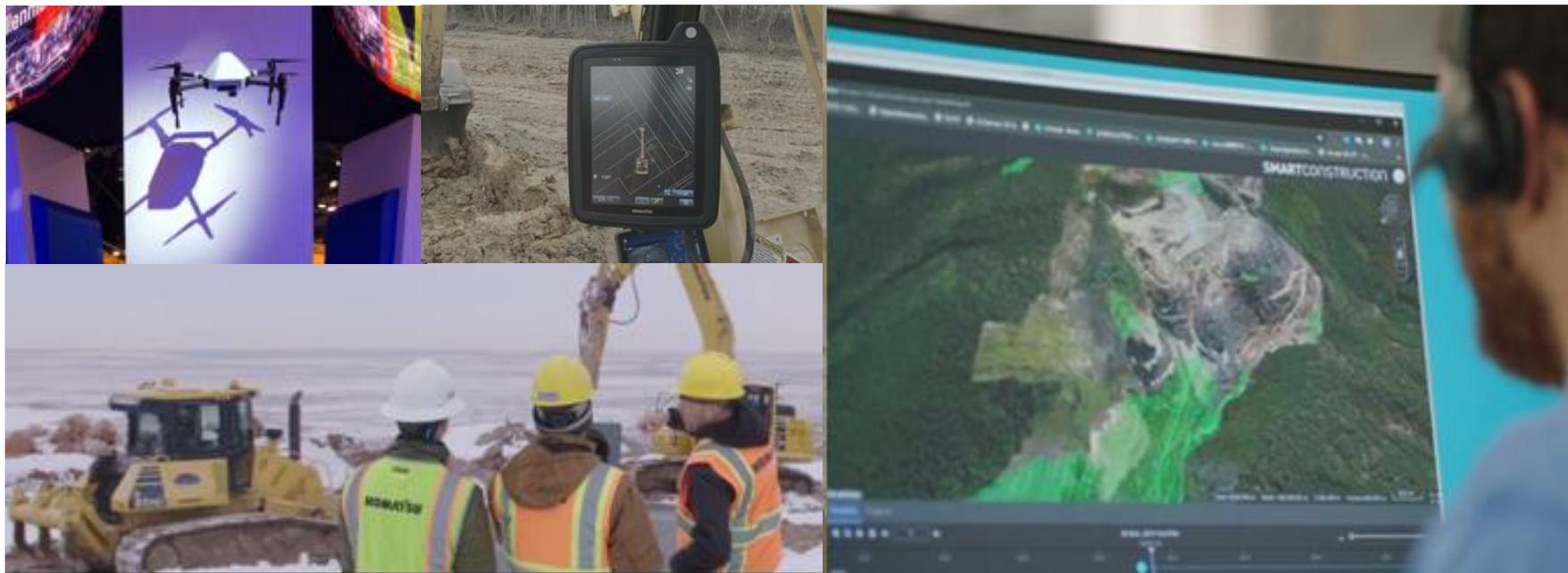


コマツ

個人投資家向け WEBセミナー

代表取締役社長(兼)CEO 小川 啓之



【証券コード】6301

1. コマツの概要
2. 新型コロナウイルスに関する影響について
3. 業績見通しおよび株主還元について
4. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
5. ESG課題解決への取り組み

1. コマツの概要

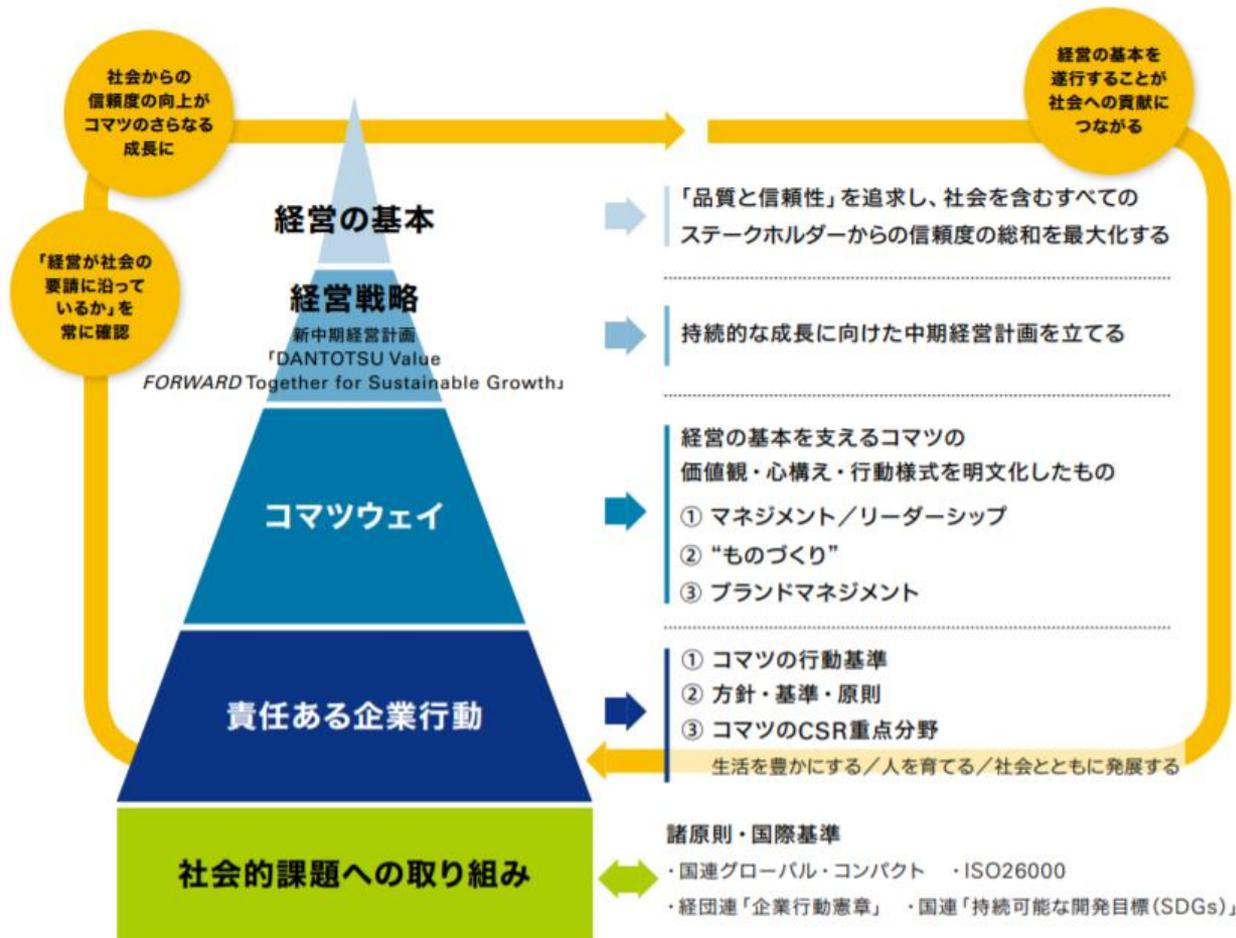
2. 新型コロナウイルスに関する影響について

3. 業績見通しおよび株主還元について

4. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –

5. ESG課題解決への取り組み

コマツの経営の基本は、「品質と信頼性」を追求し、企業価値を最大化することです。そしてその「企業価値」とは、我々を取り巻く社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和であると考えています。



創業者 竹内 明太郎（高知県宿毛市出身）の志

工業富國基

工業は国を富ませる基なり

人材育成こそが工業富國基の基本

➤ 鉱山機械開発のため小松鉄工所を設立（1917年）

➤ 1921年5月13日 株式会社小松製作所の誕生

創業の精神は、遺伝子として受け継がれる

～世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する～



創業者 竹内 明太郎

◆品質第一

◆技術革新

◆海外への雄飛

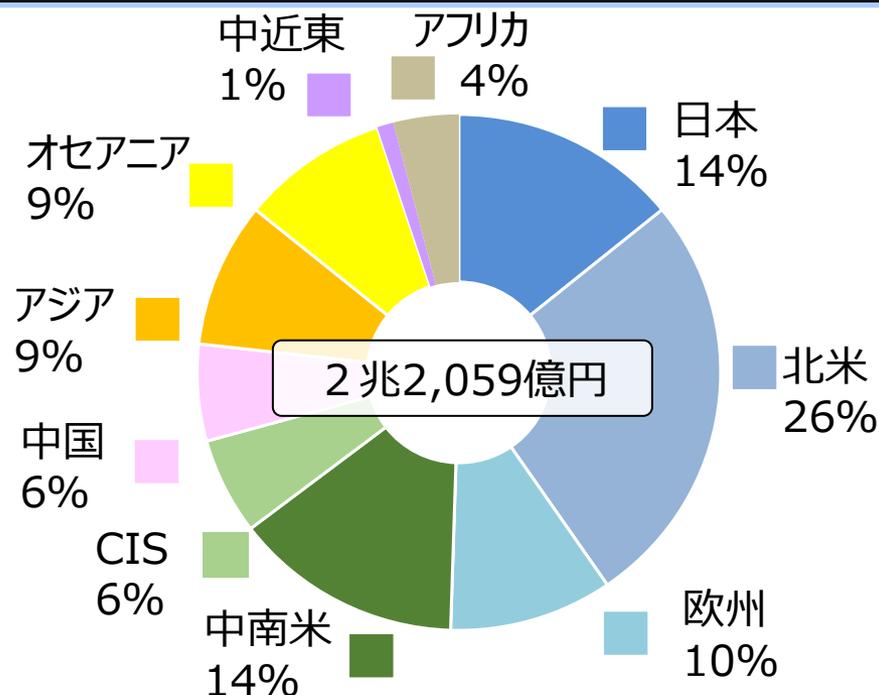
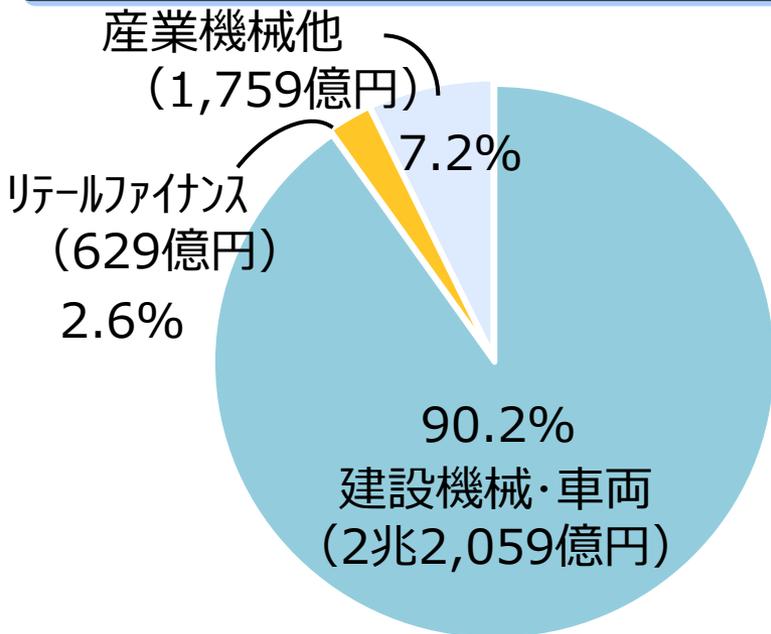
◆人材育成

2021年に創立100周年を迎えます

- ・設立 : 1921年5月13日
- ・連結売上高 : 2兆4,448億円
- ・営業利益 : 2,507億円
- ・総資産 : 3兆6,536億円
- ・連結子会社 : 219社
(日本) 13社 (海外) 206社
- ・連結従業員数 : 62,823人
社員の約68%は外国籍

事業別の売上高*構成

建設機械・車両事業の地域別売上高*構成



*売上高は外部顧客向け (セグメント間取引消去後) ベース

■ 建設・鉱山機械

：世界2位。インフラ開発や都市化の促進。鉱山資源の採掘。



ブルドーザー

油圧ショベル
(クローラー式)油圧ショベル
(タイヤ式)

ホイールローダー



ダンプトラック

アーティキュレート
ダンプトラック

モーターグレーダー

フォークリフト
(バッテリー式)

■ 鉱山機械

: コマツマイニング（旧ジョイ・グローバル社）買収によりラインナップ[®]拡充

< 露天掘り向け鉱山機械 >



ロープショベル



ドラグライン



ドリル

鉱山機械向けシミュレータ
2019年7月に買収した「イマーシブ社」製

< 坑内掘り向け鉱山機械 >



コンティニューアスマイナー



シアラー



ロードホールダンプ

■ 林業機械

: 木材のサステナブルな活用を支える。近年M&Aを通じ林業機械事業を拡充



ハーベスター



フォワーダー



フェリングヘッド

2018年2月に買収した「クアドコ社」製



林業機械シミュレータ

2018年4月に買収した
「オリックス・シミュレーションズ社」製



フェラーバンチャー

2019年4月に買収した「ティンバープロ社」製



ブルドーザーベース植林機

■ 産業機械・その他

: 自動車業界向け大型プレス・工作機械で世界トップメーカーの一つ。



大型ACサーボプレス
[コマツ産機]



クランクシャフトミラー
[コマツNTC]



プレスブレーキ
[コマツ産機]



ワイヤーソー
[コマツNTC]



マシニングセンタ
[コマツNTC]



半導体露光
装置用光源
[ギガフォトン]



半導体製造用
温度制御機器
[KELK]

- 開発と生産の一体化： 開発・生産機能を持つ工場＝「マザー工場」
- 主要コンポーネントは日本で開発・生産し、国内で技術革新を生み出す
- 本体の組立は、需要の大きい地域で行う → 海外生産比率66 % (19年度)

建設機械・車両の主な生産拠点 (車体工場)

◎ ◎ ◎ ……開発機能を併せ持つ「マザー工場」



キーコンポーネント (生産： 小山工場)



ディーゼルエンジン



油圧機器



アクスル

現地組立・生産の目的

- ① 顧客の信頼を勝ち取る
- ② 品質問題の早期解決
- ③ 現地仕様の取り込み
- ④ リードタイムの短縮
- ⑤ 為替リスク対応

ハイブリッドショベルの
キーコンポーネント
(生産： 湘南工場)



発電機モーター



旋回電気モーター



キャパシター
*セルを除く

地域別の生産拠点数 *坑内掘り鉱山機械の現地組立工場を含む

米州	欧州 CIS	中近東 アフリカ	アジア	中国	日本	合計
36(1)	14(4)	1	13	9	12(4)	85(9)

()内はマザー工場数

海外 生産率	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	59%	61%	66%

- グローバルに販売・サービス代理店網を展開 → 需要の99%をカバー
- マイニング需要国はコマツが直接投資して代理店を運営
- リマン・リビルド(再生コンポーネント)拠点や代理店人材育成のトレーニングセンターも強化

欧州・CIS

販売・サービス法人	14
パーツセンター	6
トレーニングセンター	7
リマン&リビルドセンター	2

中国

販売・サービス法人	4
パーツセンター	2
トレーニングセンター	1
リマン&リビルドセンター	2

米州

販売・サービス法人	22
パーツセンター	15
トレーニングセンター	3
リマン&リビルドセンター	3

中近東・アフリカ

販売・サービス法人	5
パーツセンター	2
トレーニングセンター	2
リマン&リビルドセンター	1

日本

販売・サービス法人	1
パーツセンター	5
トレーニングセンター	2
リマン&リビルドセンター	0

アジア・オセアニア

販売・サービス法人	12
パーツセンター	15
トレーニングセンター	2
リマン&リビルドセンター	5

● 鉱山機械の代理店
(コマツ直営代理店)

(2020年3月末現在)

1. コマツの概要
- 2. 新型コロナウイルスに関する影響について**
3. 業績見通しおよび株主還元について
4. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
5. ESG課題解決への取り組み

(1) 生産への影響

(2020年10月28日現在)

最新の状況

全ての工場が通常稼働

※「市場」の位置づけ

伝統市場：日本、北米、欧州

戦略市場：中国、中南米、アジア、

オセアニア、アフリカ、中近東、CIS

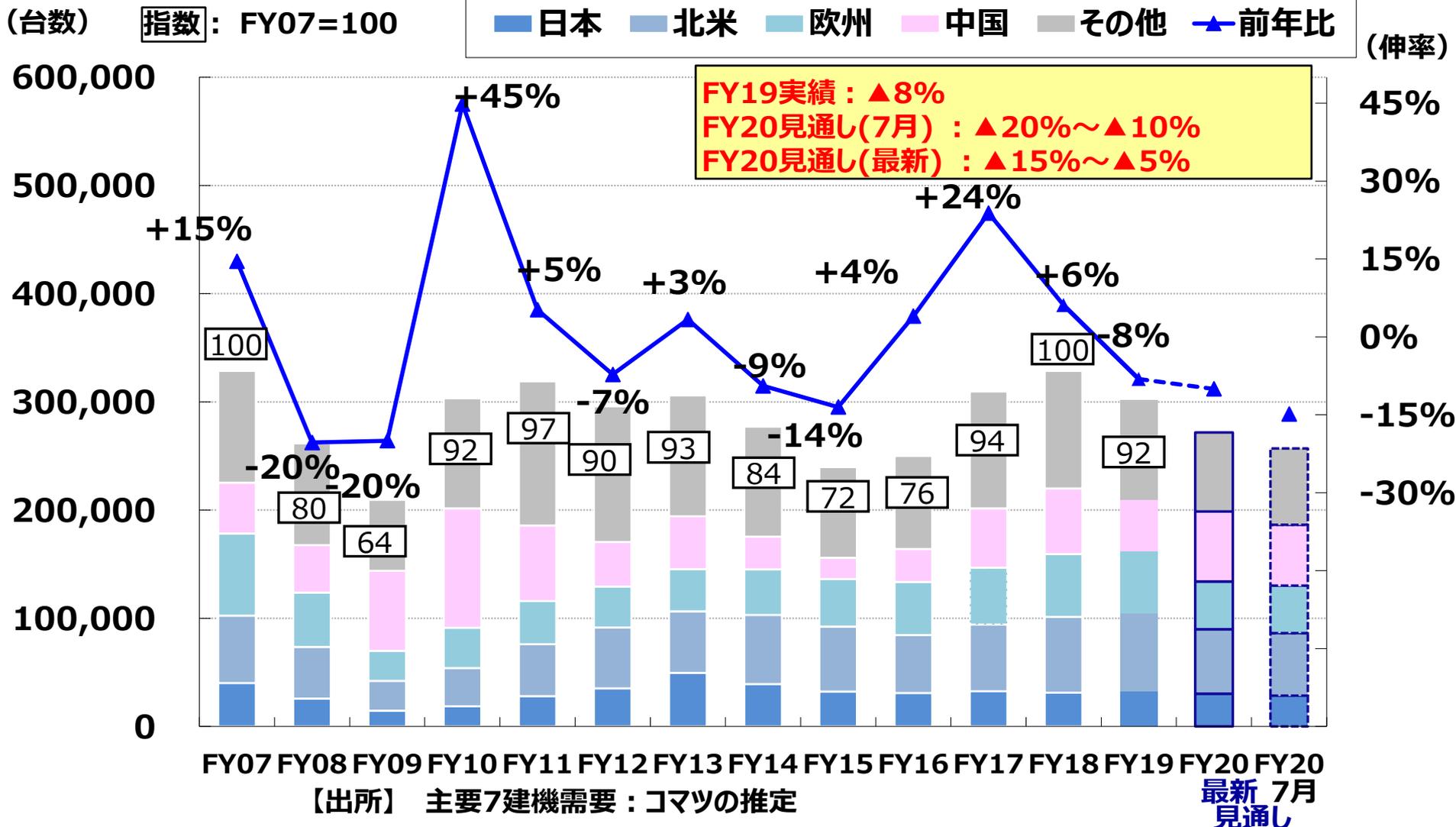
(2) 販売・サポート活動への影響

項目	最新の状況
機械の稼働状況	多くの地域で例年並みに戻っている
営業活動	在宅勤務から通常勤務、あるいは、制限付き勤務に移行する拠点が増加
サービス活動	部品倉庫、サービス・ワークショップで通常勤務が増加

(3) 2020年度業績見通しについて（需要の見通し）

項目	最新の状況
伝統市場 ※	地域によって差はあるが、2Qより対前年同期の減少幅が縮小、回復傾向が続く
戦略市場 ※	地域によって差はあるが、2Qより対前年同期の減少幅が大きく縮小、回復傾向が続く
中国	2～3月のセールスシーズン後ろ倒しや景気の回復で1Q、2Qは大幅増、今後も堅調に推移する見込み

- ・2020年度の需要は、前年比▲15%～▲5%（最新：10月見通し）。
- ・7月見通しに対し、中国、北米、日本等での需要増加を織り込み。



1. コマツの概要
2. 新型コロナウイルスに関する影響について
- 3. 業績見通しおよび株主還元について**
4. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
5. ESG課題解決への取り組み

- ・ 連結売上高は前年比▲13.3%減収の2兆1,190億円。
- ・ 営業利益は前年比▲46.6%減益の1,340億円の見通し。
- ・ 中間配当金は1株当たり18円、通期見通し43円。連結配当性向は50.8%の見通し。

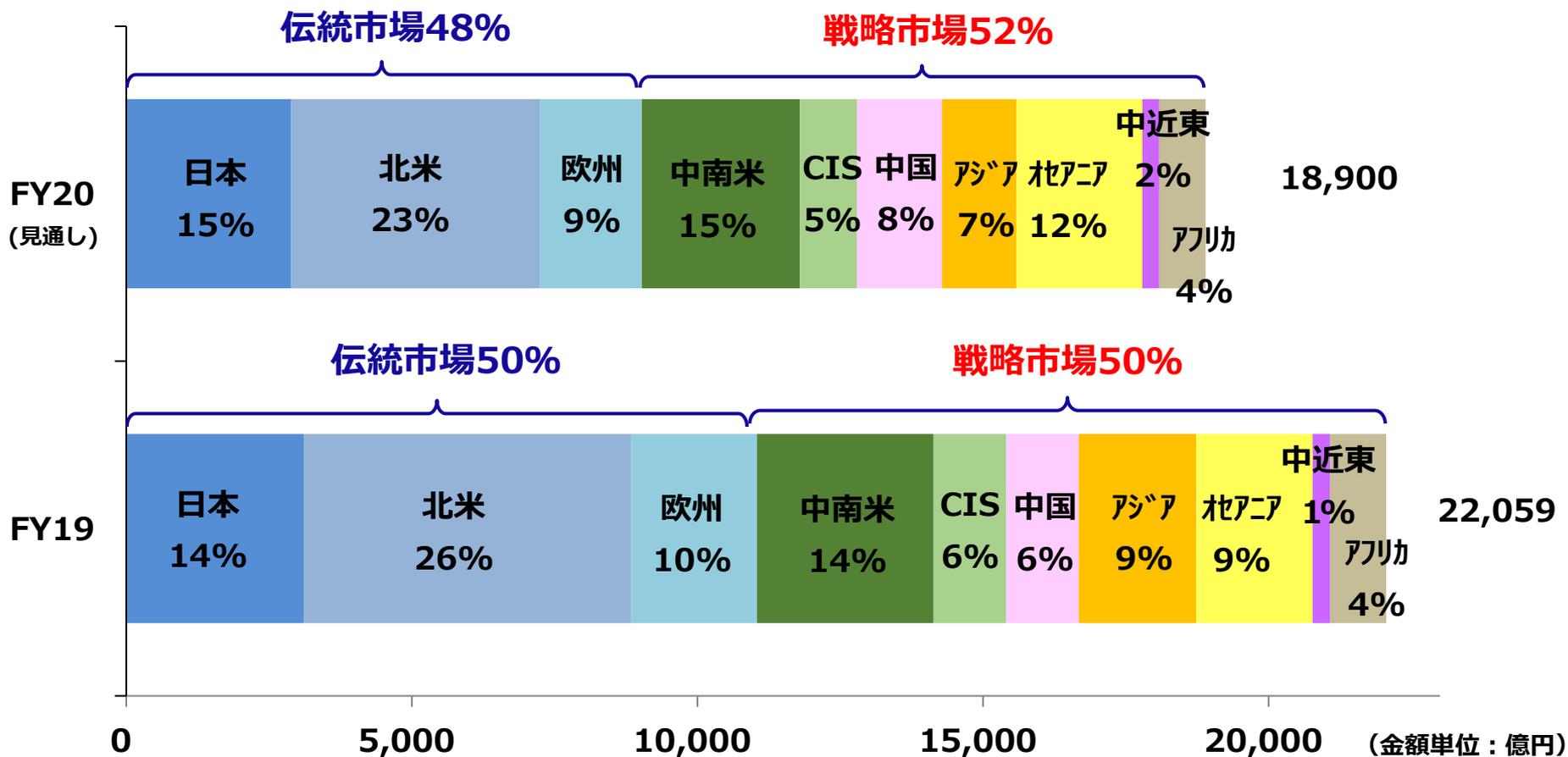
金額単位：億円	2019年度 (A) ¥108.7/USD ¥120.8/EUR ¥15.6/RMB	2020年度(B) (見通し) ¥106.1/USD ¥122.7/EUR ¥15.1/RMB	前年比 (B) - (A)	
			増減	増減率
連結売上高	24,448	21,190	▲ 3,258	▲ 13.3%
営業利益	2,507	1,340	▲ 1,167	▲ 46.6%
売上高営業利益率	10.3%	6.3%	▲ 4.0ポイント	-
当社株主に帰属する当期純利益	1,538	800	▲ 738	▲ 48.0%
ROE	8.6%	4.5%	▲ 4.1ポイント	
1株当たり 配当金 (円)	中間	55円	18円	▲ 37円
	期末	39円	25円	▲ 14円
連結配当性向	57.7%	50.8%		

- ・ 建設機械・車両の売上高は1兆9,050億円、セグメント利益は1,180億円。
- ・ リテールファイナンスの売上高は670億円、セグメント利益は100億円。
- ・ 産業機械他の売上高は1,720億円、セグメント利益は120億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2019年度 (A)		2020年度 (最新見通し) (B)		前年比(B)-(A)	
					増減	増減率
売上高		24,448		21,190	▲ 3,258	▲ 13.3%
建設機械・車両	(22,059)	22,112	(18,900)	19,050	(▲ 3,159) ▲ 3,062	(▲ 14.3%) ▲ 13.9%
リテールファイナンス	(629)	709	(580)	670	(▲ 49) ▲ 39	(▲ 7.9%) ▲ 5.5%
産業機械他	(1,759)	1,775	(1,710)	1,720	(▲ 49) ▲ 55	(▲ 2.8%) ▲ 3.1%
消去		▲ 148		▲ 250	▲ 101	-
セグメント利益	□ 10.4%	2,550	□ 6.6%	1,390	▲ 1,160	□ ▲ 3.8% 外 ▲ 45.5%
建設機械・車両	□ 10.3%	2,273	□ 6.2%	1,180	▲ 1,093	□ ▲ 4.1% 外 ▲ 48.1%
リテールファイナンス	□ 17.9%	126	□ 14.9%	100	▲ 26	□ ▲ 3.0% 外 ▲ 21.1%
産業機械他	□ 7.7%	137	□ 7.0%	120	▲ 17	□ ▲ 0.7% 外 ▲ 12.4%
消去または全社		13		▲ 10	▲ 23	-

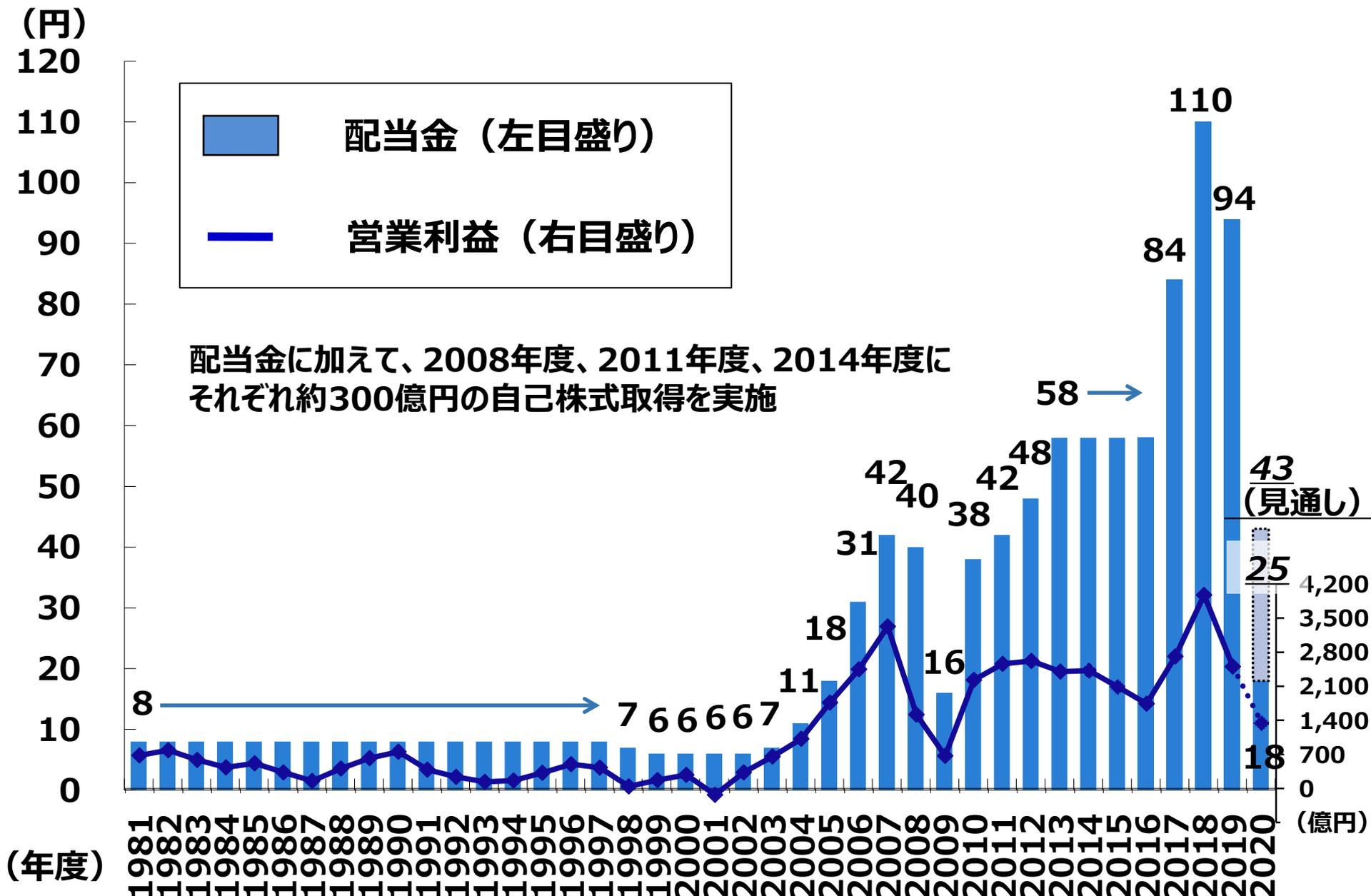
- ・ 外部顧客向け売上高は前年比▲14.3%減収の1兆8,900億円の見通し。
- ・ 中国、オセアニアで増加。北米、アジア、欧州で大きく減少。
- ・ 伝統市場の比率は48%に低下。



当社は、持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努めています。配当金につきましては、連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針です。具体的には、連結配当性向を **40%**以上とする方針です。

<配当方針・連結配当性向推移>

	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20 (予定)
配当方針	20～40%			30～50%			40～60%			40%以上	
連結配当性向	24%	24%	36%	35%	36%	40%	48%	40%	40.5%	57.7%	50.8%

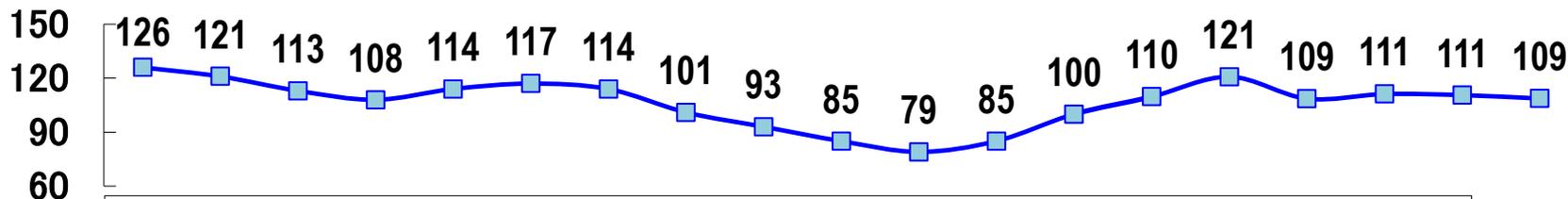


2002年3月末からの株価変化率 (各月の終値ベース)

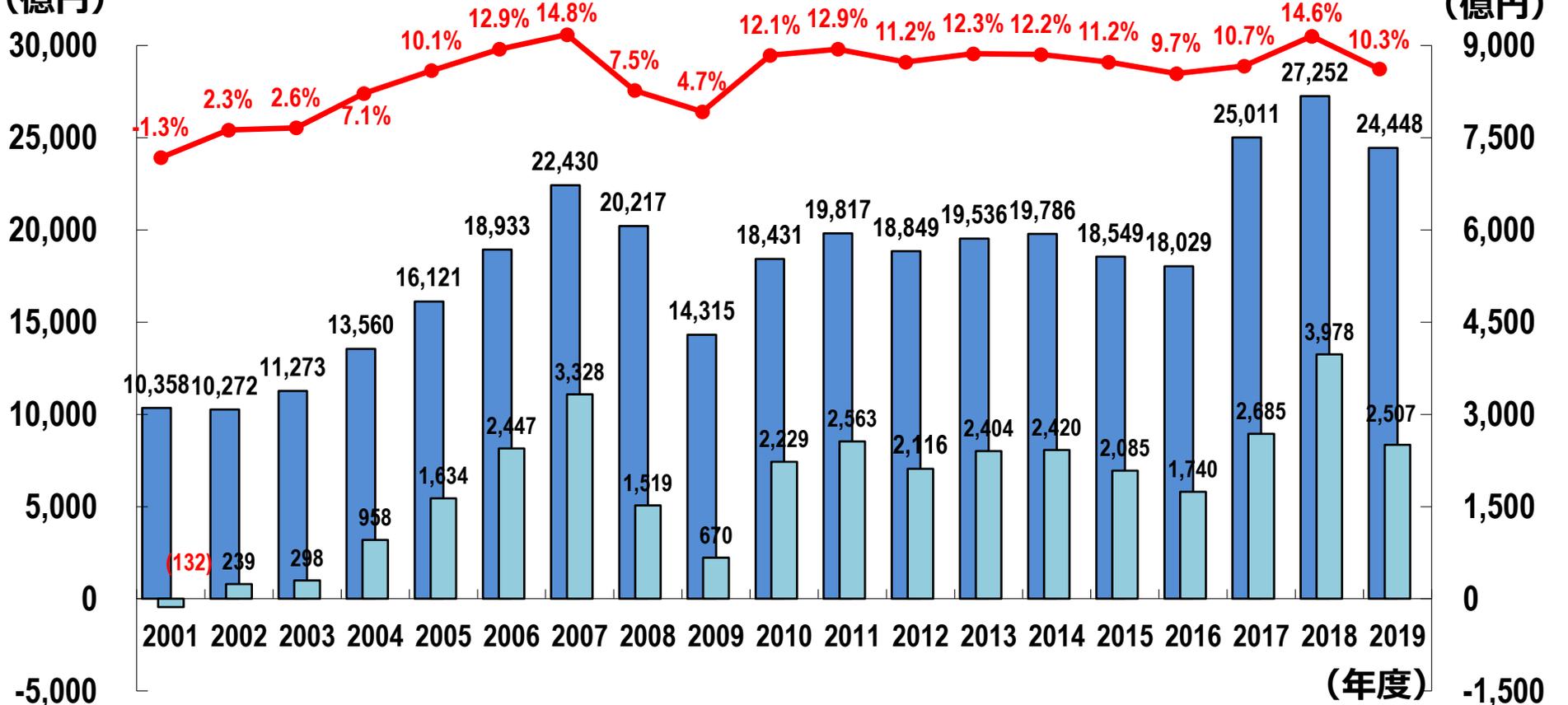
2020年10月末値
: 2,341円



為替レート (円/ドル)



売上高 (億円)



営業利益 (億円)

(年度)

当社株式を長期保有いただいている株主さまに感謝品を進呈
(2014年7月より制度スタート)

- コマツ製品のオリジナルミニチュア(非売品)を対象の株主さま1名に1個 進呈。
- 毎年1機種ずつリリースし、シリーズ化。



2020年度配布「HM400-5」 アーティキュレートダンプトラック

(縮尺：1/87、長さ128・幅40・高さ43.5mm)

※ 画像はイメージ

対象となる株主さま

基準日(毎年3月31日)現在、当社株式の保有期間が**3年以上(*)**保有し、
かつ**3単元(300株)**以上を保有の株主様

* 毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して当社株式を保有していたと記載されている方

1. コマツの概要
2. 新型コロナウイルスに関する影響について
3. 業績見通しおよび株主還元について
4. **中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –**
5. ESG課題解決への取り組み

中期経営計画

(2019年度～2021年度)

DANTOTSU Value

FORWARD Together for Sustainable Growth

世界の現場を、「ダントツ」でつなぐ

今、世界は、地球規模で大きく変わり始めています。
社会やお客さまが何に困り、何を必要としているのか。

私たちは、今、何をすべきなのか。

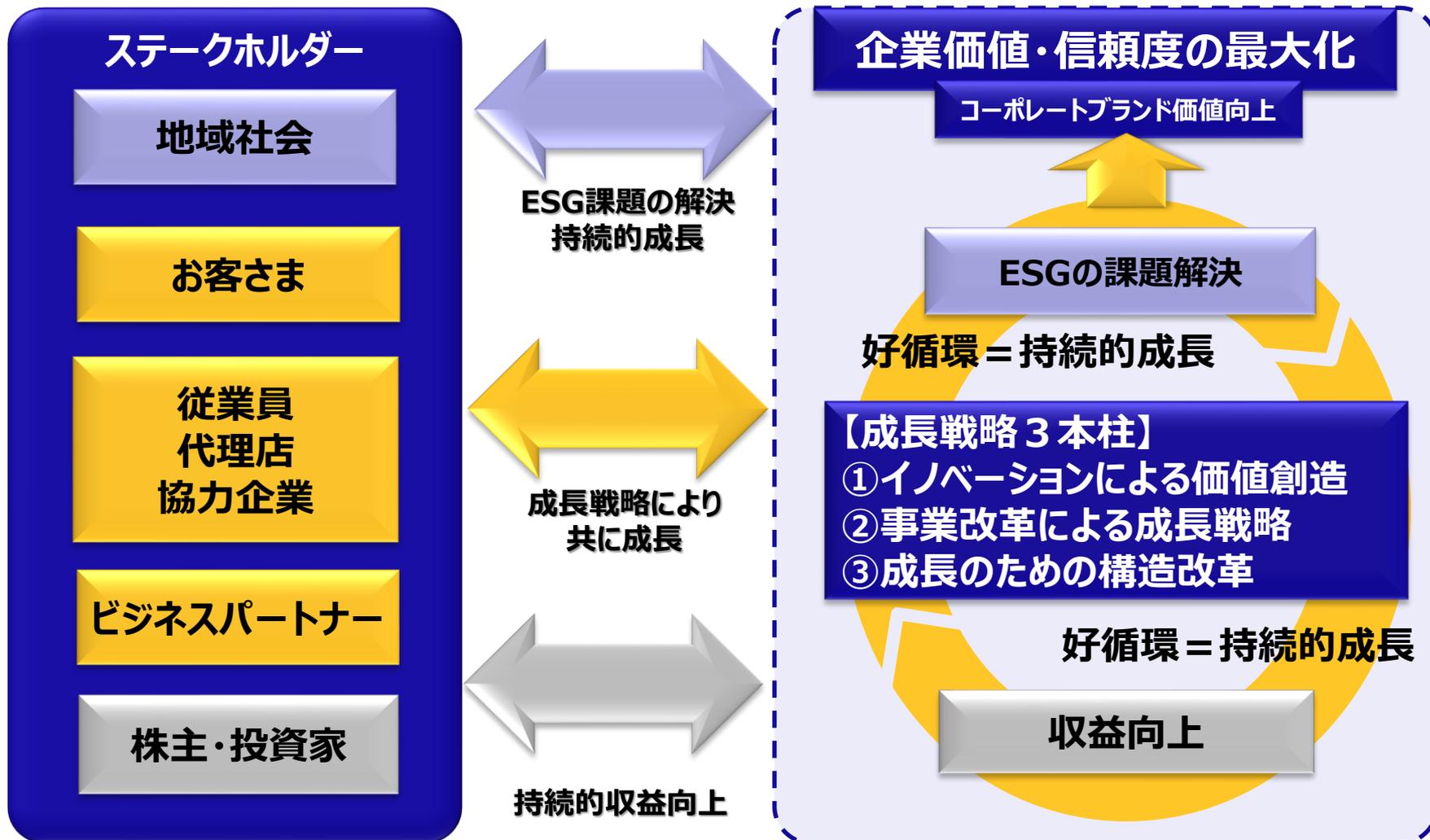
それは、私たちの強みである圧倒的な商品・サービス・ソリューションを進化させ、
お客さま、代理店、パートナー、地域社会、そして私たちすべての現場を
ダントツでつなぐことで、持続的成長を目指すことです。

「ダントツ」で世界を変える、私たちが変える。

それがコマツのダントツバリューです。

「社会やステークホルダーからの期待」

「コマツの「経営の基本」を実現する成長戦略」



ダントツバリュー（顧客価値創造を通じたESG課題の解決と収益向上）

安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場



レベル5
施工の最適化

レベル4
施工計画の自動化

レベル3
施工計画の3D化

レベル2
地形データの3D化

レベル1
設計データの3D化

コト【施工オペレーションの最適化レベル】

従来
施工

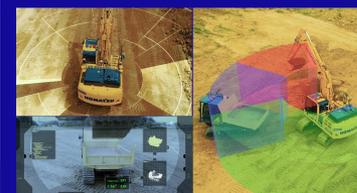
安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場



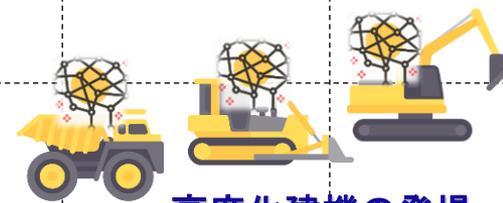
施工のデジタルトランスフォーメーション



日々最適な施工計画から、日々のタスクが自動作成。現場にある建機と協調自律化



情報化施工 進捗の見える化
ICT施工・建機 地形情報の活用



高度化建機の登場

モノ【機械の自動化・自律化レベル】

レベル1
運転支援
限定

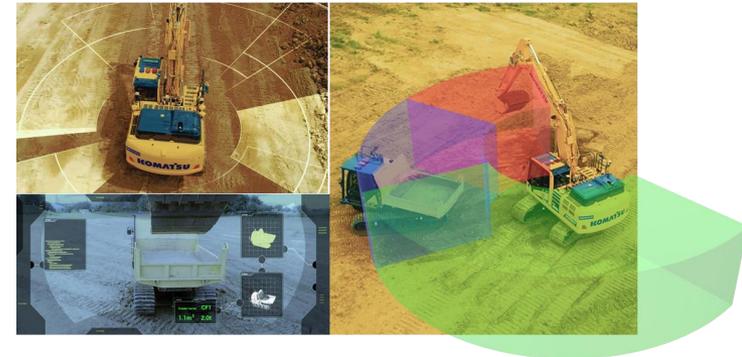
レベル2
運転支援
範囲拡大

レベル3
高度化
単独自動

レベル4
高度化
協調自律

レベル5
高度化
判断自律

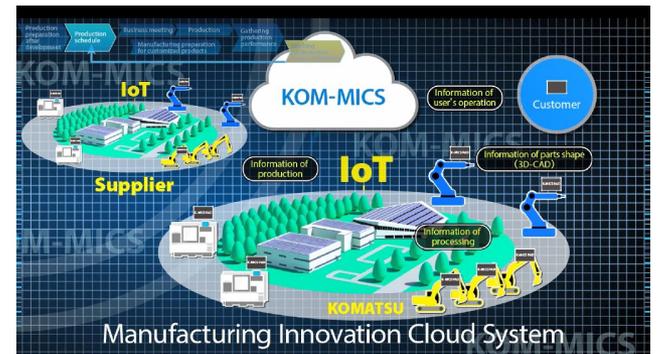
イノベーションによる価値創造

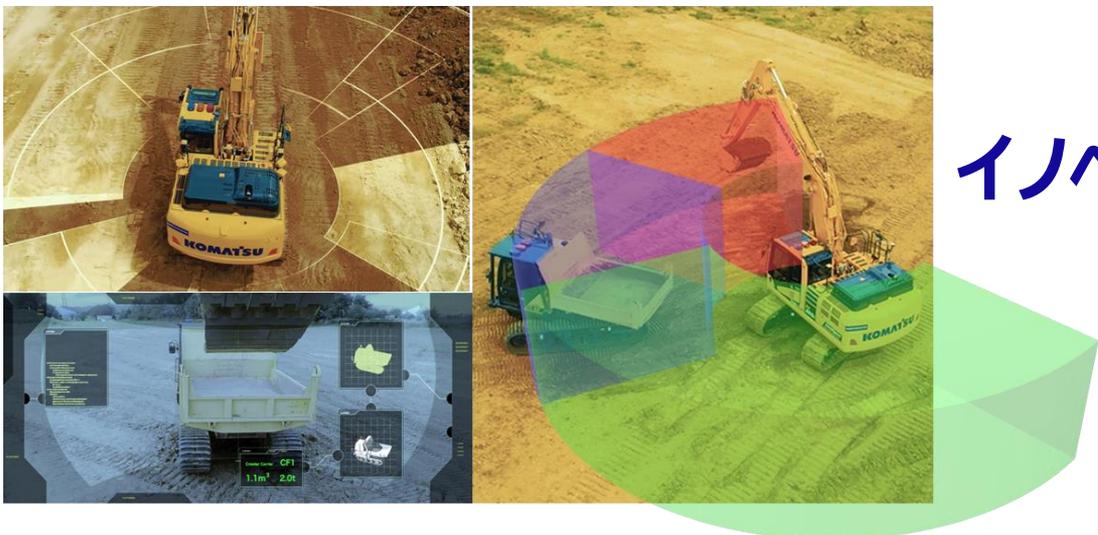


事業改革による成長戦略



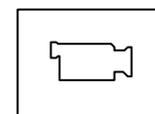
成長のための構造改革





イノベーションによる価値創造

- ◆ 最適化プラットフォームとソリューションビジネス戦略の進化
 - * スマートコンストラクション/無人ダンプトラック運行システム (AHS)
/プラットフォーム (ランドログ、IntelliMine)
- ◆ 建設・鉱山機械・ユーティリティの自動化・自律化、電動化、遠隔操作化
- ◆ 農林業のスマート化推進



: Autonomous Haulage System

高精度GPS、無線ネットワークシステムなどを活用し、鉱山で稼働するダンプトラックを無人で運行するシステム。2008年、コマツが世界で初めて実用化。現在チリやオーストラリアなどで260台超が稼働中。

決められた走路を走行 【お客様のメリット】

- ① 安全性
- ② 経済性
- ③ 生産性
- ④ 環境性



様々なソリューションプロバイダーへ開放

LANDLOG

SC DX SMARTCONSTRUCTION

コトデータ 高精度、リアルタイムコストデータ

売上データ コトデータ



機械費

労務費

材料費

3D地形データ



Edge / Cloudで処理

可視化

課題発見

施工の最適化

タスクの作成

精度良く、高速に、簡単に、安く、コトデータ化

 建機	 人	 ドローン	 資材	 ダンプ	 燃料
---	--	---	---	--	---

建設現場に関わる人、機械、材料全て



施工をリアルタイムに**可視化**→施工を**最適化**→最適化された**デジタルタスク**を作成

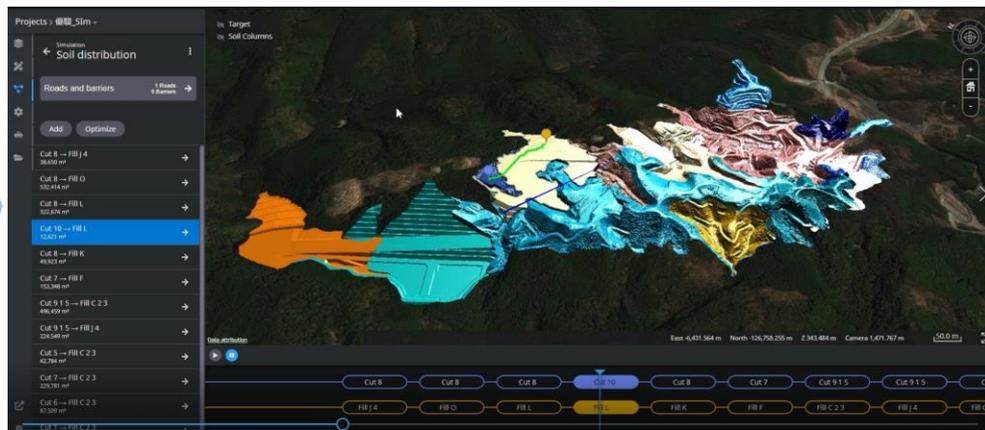
SMART CONSTRUCTION Dashboard

施工状況をリアルタイムに可視化



SMART CONSTRUCTION Simulation

施工計画をPDCAを回し最適化・最適デジタルタスクを作成

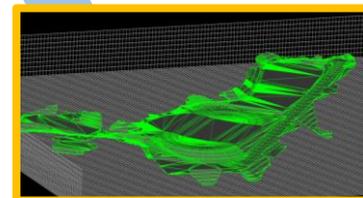


施工履歴



レトロキットで3D-MGへ

建設現場全体の安全・生産性向上



日々
3D設計データ
デジタルタスク

建設現場全体が3D化され、日々最適化された3D設計データを受取り施工

建設現場での「3密回避」でスマコンへの期待が高まっている

通常の施工会議風景（現場事務所）

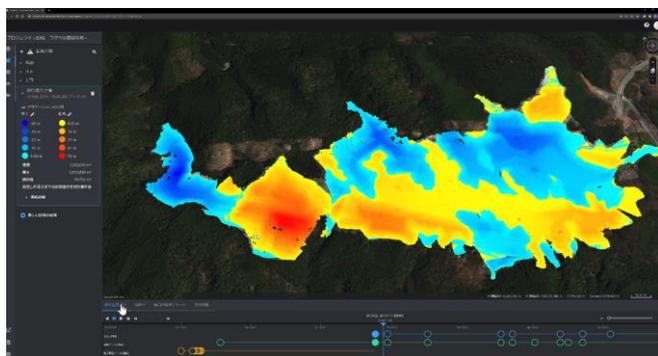


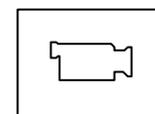
KCSJスマコンの受注 ※KCSJレンタル事業部のみ

20年4月～9月
スマコン受注件数前年比 **144%**



現場から離れ場所からWeb会議システムでSC Dashboardで現場を可視化し関係者で共有する





SMART CONSTRUCTION Retrofit

スマートコンストラクション・レトロフィットキット

全てのメーカーの油圧ショベルに装着可能

■基本キット主要機器概要



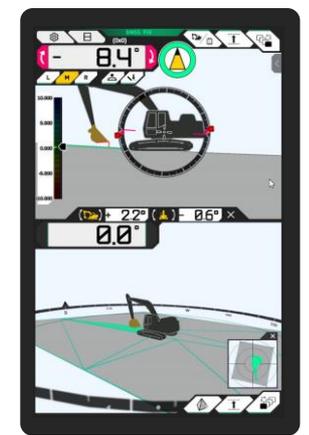
タブレット用アプリ

SMART CONSTRUCTION Pilot



現在は2つの機能を用意（今後拡張予定）

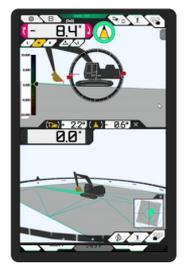
3Dマシンガイダンス



パイロードメータ



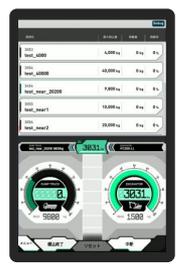
3Dマシンガイダンス



SMART CONSTRUCTION Dashboard



パイロードメータ



SMART CONSTRUCTION Fleet

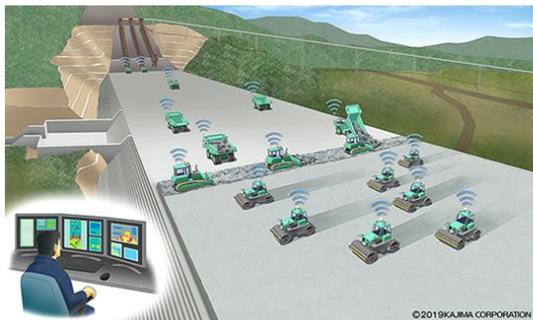


スマコンレトロキット単体の利用から→DXスマコンソリューションへ

自動化

秋田県成瀬ダム ブルドーザーD65/ダンプトラックHD465
(自動化レディ機) 提供

'20/7月からブルドーザーの本格的な自動施工開始。



国交省・成瀬ダムでの自動化施工システムの適用イメージ



提供：鹿島建設株式会社

電動化

フル・エレクトリック

フォークリフト・小型建機

バッテリー
電動



ハイブリッド/
ディーゼル・エレクトリック

中大型建機

ハイブリッド
ディーゼレクトリック



フル・エレクトリック

地表鉱山機械

燃料電池

有線電動



地下鉱山機械

有線電動

バッテリー
電動





事業改革による成長戦略

- ◆ コマツマイニング（KMC）統合による相乗効果と成長戦略
- ◆ バリューチェーン改革/アフターマーケット再定義
 - * IoT/AI予測技術による予知保全、号機管理によるライフサイクルサポート
 - * ロジスティクス改革、* 次世代キーコンポーネント
- ◆ 次世代KOMTRAX
- ◆ 碎石・セメント、農林業等 分野別強化
- ◆ アジアダントツNo1、インド・アフリカ 成長市場への取り組み
- ◆ 産機事業改革（建機事業とのシナジー拡大、コア技術による成長）

ICTを活用した機械のトータルライフサイクルサポートで、お客さまとの関係性を強化
 新車販売から中古車下取りまでを視野に入れたビジネスモデル

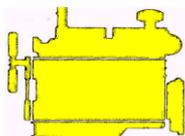
バリューチェーンビジネスの出発点
 長期的な関係性構築の第一歩



コンポーネント（エンジン・トランスミッションなど）を新品同様によみがえらせ、再び市場に供給する事業、2カ所のグローバル拠点を設置。

[お客さまのメリット]新品同等の品質と性能を保証、適正に在庫されたリマン品により休車時間を短縮、新品に比べ割安、リユース/リサイクルによる資源の節約・廃棄物の削減

受入検査



洗浄

分解

部品検査

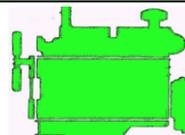
部品加修

再組立

性能検査

塗装

出荷



リマンコンポ

- ① 新品部品と交換
- ② 部品再利用
- ③ 加修後再利用

<リマン拠点>

★ グローバルリマン工場



2020年4月現在※KMC除く

「持続可能な循環型林業」に貢献するため、
植林・造林、育林、伐採のあらゆる工程の機械化を進めている。

● 植林分野への新商品導入



植林
自動運転植林機
D61EM-23M0



地拵え
地拵え用機械
D85EX サブソイラー



● 伐採、搬出作業の生産性・安全性向上



伐倒
油圧ショベルベースの林業機械
PC130F ハーベスター仕様



搬出
傾斜地にも対応する集材作業車
フォワーダー895

2018年11月、南アフリカにKomatsu Africa Holdings新キャンパスを設置し南部アフリカ地域のサポート体制を強化。2020年9月に新リマン工場完成。



新リマン工場



KAfH本社

南部アフリカのセントラルハブ



ストックヤード

南部アフリカ11か国に販売する
マイニング・コンストラクション機械を在庫



ワークショップ

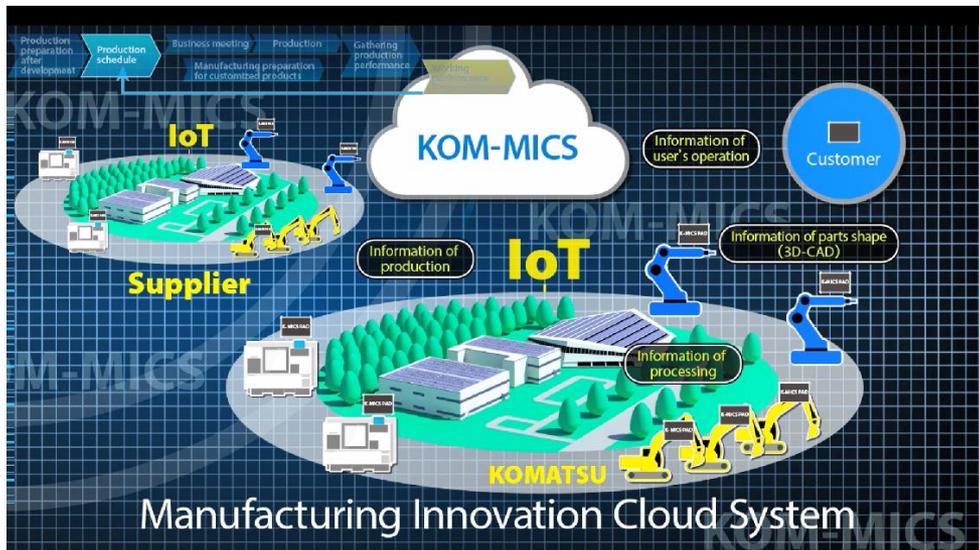
ワークショップベイはHD1500
まで収容可能



トレーニングセンタ

36のテクニカルトレーニングコースで
顧客オペレーションを支援





成長のための構造改革

- ◆ ICT・IoTによる業務改革
- ◆ 開発体制の構造改革
 - * モデルベース開発
 - * オープンイノベーション
- ◆ つながる工場、地球・作業環境負荷ゼロ工場
- ◆ グローバル人材育成

コマツの“つながる化”

IoTで「生産から販売まで全ての工程」がリアルタイムに連携/循環

KOM-MICS

KOM-MICS : *KOMATSU Manufacturing Innovation Cloud System*

加工・品質情報見える化 生産現場・生産設備のネットワーク化
 生産現場の「見える化」とIoT技術を駆使したプラットフォームにより、生産性が向上



ICT活用したプロセス革新

生産性2倍、省人化
 品質向上、リードタイム半減



工場をスリム化
 (スマートファクトリー)

◆ コマツマイニング

ミルウォーキー本社/工場移転

- FY19 : 建屋設計 **完了**
- FY20 : 建屋工事 **7月着工済**
- 投資金額 : 約330億円



新ミルウォーキー工場構想図



工場建屋

本館建屋



ミシガン湖

ウィスコンシン州
ミルウォーキー

◆ コマツフォレスト

新ウメオ工場 (スウェーデン)

- FY19 : 工場建屋 **着工済 (19/12)**
- FY20 : 事務所棟 **4月着工済**
- 投資金額 : 約100億円



工場移転計画



新事務所棟

新工場



1. コマツの概要
2. 新型コロナウイルスに関する影響について
3. 業績見通しおよび株主還元について
4. 中期経営計画 – 成長戦略への取り組み –
5. **ESG課題解決への取り組み**

CSR重点分野	成長戦略 3 本柱によるESG課題の解決	SDGs*との関係
<p>生活を豊かにする</p> <p>-社会が求める商品を提供する-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供 	<p>産業技術革新 持続可能都市</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div> <p>気候変動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>
<p>人を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の育成 ・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成 	<p>経済発展</p> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div>
<p>社会とともに発展する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 ・責任ある企業行動 	<p>持続可能都市 協業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>

本業を通じたESG課題解決

*SDGs : Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標
 国際社会が2030年までに達成すべき17のゴールを定めたもの。2015年9月に国連で採択。各国政府・企業は実現の責任を負う。

経営指標		経営目標
【新設】 ESG	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減 外部評価 	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減 CO₂排出削減：2030年50%減（2010年比） 再生可能エネルギー使用率：2030年50% 外部評価： DJSI*選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP** Aリスト選定（気候変動、水リスク）等

*ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシズ：
米国S&Pダウ・ジョーンズ社とスイスのロベコ・サム社によるSRI指標

**企業や政府が温室効果ガス排出量を削減し、
水資源や森林を保護することを推進する国際的な非営利団体



製品の使用によるCO₂排出量は、
建機ライフサイクル全体の総排出量の約90%を占める

■ 製品の燃費性能向上 (ダントツ製品)

- **ハイブリッド車**
22%改善
(対従来標準機PC300-10比)
- **モデルチェンジでの改善**
Tier4-Final車の
燃費向上



HB335-3



WA380-8



HM300-5

■ KOMTRAXによる低燃費運転の提案

- 建機の使われ方をKOMTRAXデータで解析し、低燃費運転法を提案



車両情報管理システム[KOMTRAX]

■ スマートコンストラクションでのCO₂削減

- 工事の総合効率を高め燃料消費削減



土地造成 整地7,000m²の事例

従来	測量	施工
	測量時間1/100 建機稼働時間1/3	
スマコン		

■ 無人ダンプトラック (マイニング自動化)

■ 鉱山プラットフォームビジネス促進

■ 坑内掘り化 (ハードロック)



無人ダンプトラック/鉱山プラットフォーム



坑内掘り向け鉱山機械 (ロードホールダンプ)

中期経営計画における価値創造モデル

「成長戦略による 収益向上 と ESG 課題解決 の好循環」

本業(事業活動そのもの)と、環境・CSRの要素を一体で説明することが必要
→投資家の皆さまに対し、中長期な視野からコマツの企業価値向上の取り組みをご説明することを目的として、2019年度から作成・開示。



【2020年度版】

◆社長メッセージ (中期経営計画)

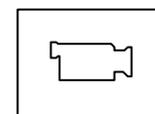
◆CFOメッセージ (財務戦略)

◆ESG課題解決への貢献度を評価するための指標(KPI)19年度実績

[E:環境] TCFDの枠組みに沿った取り組み

[S:社会] 人材育成、社会貢献活動 (農業支援、新型コロナウイルス)

[G:ガバナンス] リスクマネジメント (新型コロナウイルスへの対応など)



ブルドーザーは、地雷除去機になった。カンボジアの地雷原は、田んぼや畑になった。



ブルドーザーをベースに開発した対人地雷除去機

育てた人材が、地域を育ててくれる。育てた人材が、コマツを育ててくれる。



リベリアの職業訓練校と寄贈した油圧ショベル

後継者の少ない日本の稲作を、ブルドーザーで救えないだろうか。



農業ブルドーザー(D21L-8)を活用した作業風景

CSR活動の一貫として、女子柔道部を持ちスポーツ振興支援をしています。
応援をよろしくお願いいたします。





DXグランプリ2020
Digital Transformation

経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「デジタルトランスフォーメーション 銘柄（DX銘柄）」企業(35社)の中から、“デジタル時代を先導する企業”として「DXグランプリ2020」(2社)に選定されました。



公益財団法人 日本生産性本部が主催する「第3回日本サービス大賞」で、当社の土木建設サービス全体のデジタル業態革新「スマートコンストラクション」が内閣総理大臣賞を受賞しました。

時期	タイトル		評価
2019/1	CDP		「気候変動」Aリスト企業
2019/2	日経Smart Work大賞2019		審査委員特別賞
2019/9	ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシズ (経済性、環境への取り組み、社会的活動評価)		選定 (世界2,500社中318社 : うち日本企業33社)
2020/1	東京証券取引所 「企業価値向上表彰」		大賞 (約3,650社)
2020/8	デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) (デジタル時代を先導する企業)		DXグランプリ2020受賞 (2社/DX銘柄35社)

ご清聴ありがとうございました

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

質疑応答